

第2回 大人のための学びのひろば ーミドル層は、「グローバル化」にどう対応できるのかー

実施要項

1. 目 的

大学を取り巻く様々な課題に対し、ミドル層の職員はどのようなことができるのか、広い視野を持ち、新たな発想を受け入れ、視点を変えられる柔軟性と創造性のある大学職員になることを目指します。

また、複数の大学の複数の分野の教職員が集まることにより、目の前の業務をいろいろな視点から捉え、新たな業務視点を検討する引き出しを増やす機会を提供し、課題解決に向けた広いネットワークの構築と共有につなげます。

今回は、カタカナ用語に弱いミドル層大学職員が、近年多用されている「グローバル」を真剣に論じてみようと思います。

「ミドル層はグローバル化にどう対応できるのか」をテーマとして、「グローバル」の意味や目指すところ、また、大学の職員そのものが「グローバル」であるためにはどうしたらいいのかを考えます。

2. 主 催

横浜国立大学職員SD研修「大人のための学びのひろば（仮称）」グループ

3. 日時・会場

〔日時〕 平成27年9月17日（木） 13：30から17：00（予定）

情報交換会17：30から19：00

〔場所〕 理工学系事務棟 4階第一会議室 N8－④

http://www.ynu.ac.jp/access/pdf/YNU_MAP_J.pdf

〔アクセス〕 横浜駅から大学乗り入れバスで 「国大西」停留所下車

浜10系統（相鉄バス）または201系統（横浜市営バス）

<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html#bus>

4. 参加対象者

副課長・係長相当職をメインターゲットとしますが、係長以下の方、課長以上の方、教職協働に関心のある教員の方にもご参加いただけます。

5. 主な内容

①講演：「大学のグローバル化とは？」

立命館アジア太平洋大学（APU）から、学長室課長の大嶋名生氏をお招きし、「グローバル」の最先端を進むAPUの取り組みや考え方についてお話しいただき、大学における「グローバル化」を考える機会とします。

②討論会：「グローバル化」に対応するために

APUの大嶋氏を囲み、講演内容や日頃各大学内で語られる「グローバル」について討論し、ミドル層が「グローバル化」に対応することを考えます。

③グループワーク：ミドル層は、「グローバル化」にどう対応できるのか

講演、討論会の話を受け、各グループで「グローバル化」の対応を考えます。
時には「ローカル」との関係を議論するなど、広く「グローバル」を捉えるところで視野を広げます。

[情報交換会]

理工学部食堂（第2食堂）ruhe（ル-エ）において情報交換会を開催します。

ぜひ多くの方と交流を持ってネットワークを構築してください。

（会費3千円を当日徴収いたします。）

6. 申し込み方法

メールにて、件名に「大人のまなび」と明記いただき、下記の情報をご記入の上、平成27年9月10日（木）までに ses.fukujimuchol@ynu.ac.jp 宛てご連絡ください。

① 氏 名

② 大学名・所属・役職

③ 情報交換会の出・欠

皆様のご参加をお待ちしております。

大人のための学びのひろば運営スタッフ

馬橋 修一（理工学系大学院等事務部副事務長、グループリーダー）

上ノ山 周（工学研究院教授）

上野 誠也（環境情報研究院教授）

岸 信治（学務・国際部教務課長）

平野 昌男（理工学系大学院等事務部事務長）

関 富士夫（学務・国際部教務課副課長）

村上健一郎（学務・国際部教務課国際教育係員）
